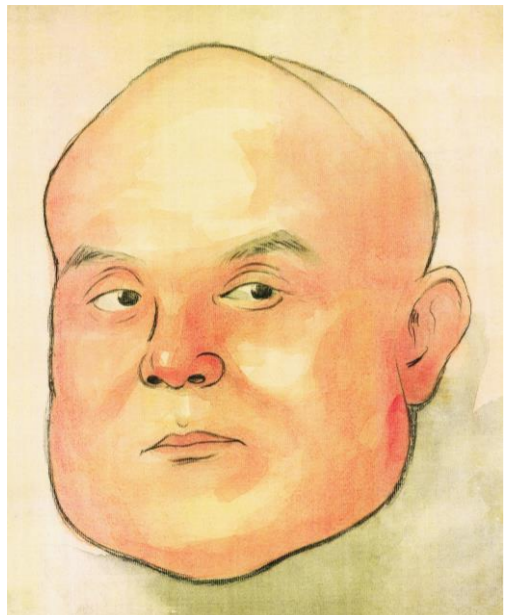


新聞人の多彩な人脈

城戸元亮への手紙展

会期:令和3年2月1日～6月19日 会場:新聞博物館企画展示室・常設展示室



城戸元亮 似顔絵

城戸元亮 (きど もとすけ) 明治14(1881)年～昭和41(1966)年

熊本県玉名郡石貫村(現玉名市) に生まれる。

第五高等学校・京都帝国大学を経て、明治40(1907)年大阪毎日新聞社に入社。

大正15(1926)年 大正天皇崩御に際し、東京日日新聞編集局主幹として新元号を「光文」と誤報。その責任を取って辞任。7カ月後、大阪毎日新聞社編集主幹として復帰。

昭和8(1933)年 大阪毎日新聞社取締役会長に就任。10カ月後、内紛で退社。

その人脈は広く、新聞、政・財界をはじめ、軍人、教育、文化、スポーツ等各界の多くの著名人などから、様々な書簡を受け取っている。

城戸元亮氏が受け取った書簡など約1,700点の遺品は、昭和62年と平成3年に子息の城戸元彦氏から新聞博物館に寄贈されました。書簡の一部は、常設展示室で展示してきましたが、全体の目録作成や内容の解読はほとんど手付かずの状態でした。令和元年夏に熊本大学文学部三澤研究室に調査、解読を依頼。昨秋には、主な著名人の書簡の解読が終了しました。今回の企画展では、著名人19名の書簡と解読文を公開します。徳富蘇峰からの書簡は、順次公開する予定です。

書簡の主な差出人



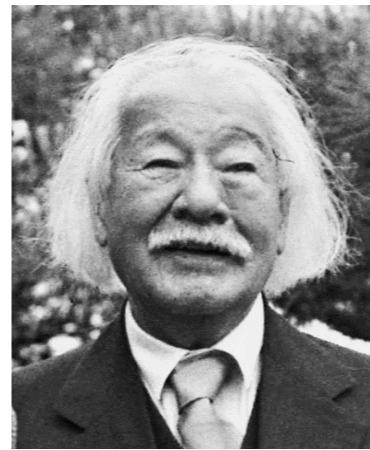
清浦 奎吾



野口 雨情



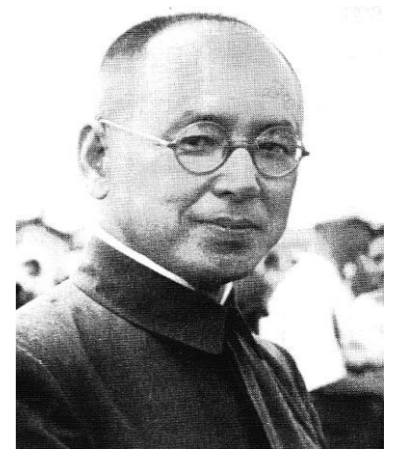
六代目 尾上 菊五郎



徳富 蘇峰



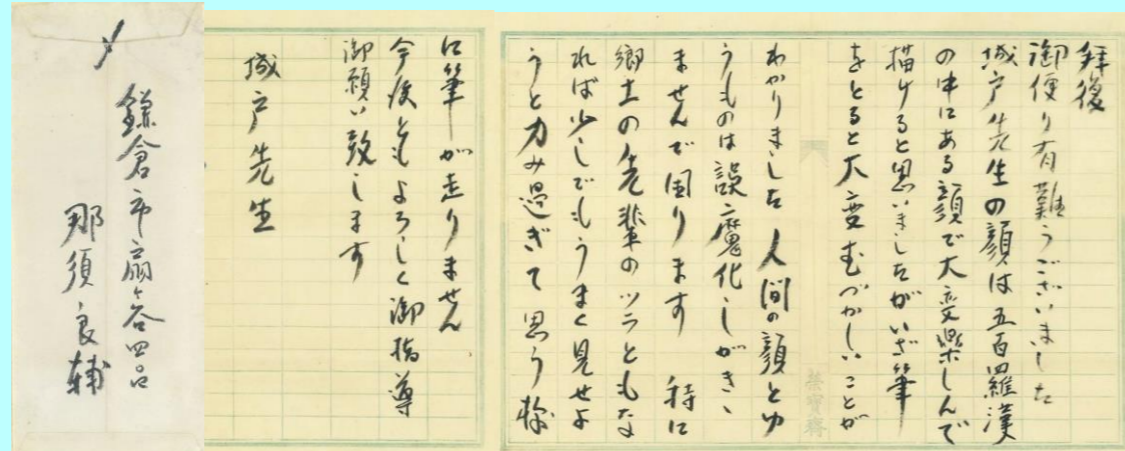
人見 絹江



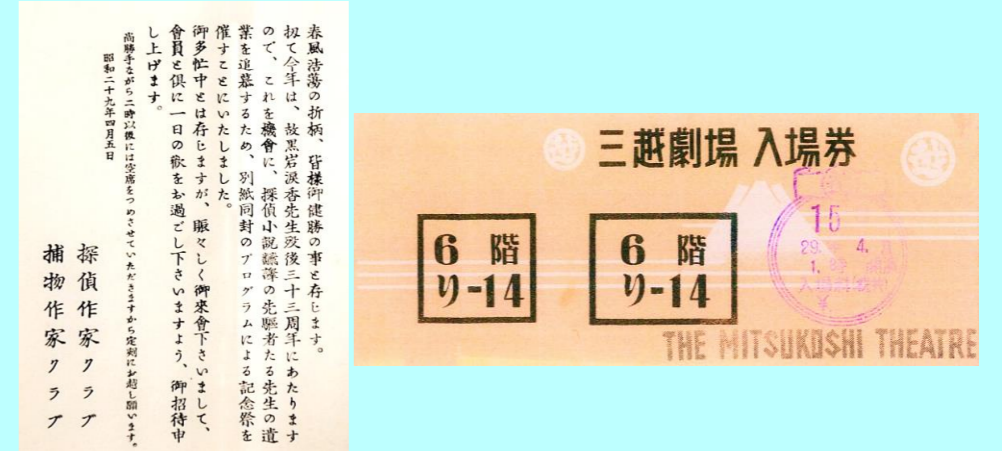
甘粕 正彦



子母澤 寛からのハガキ



那須良輔からの書簡



江戸川乱歩からの招待状と入場券

日本で初めての

新聞博物館

熊本市中央区世安町172 熊日本社2号館5階 ☎096-361-3071

開館時間 10:00～17:00(最終入館16:30)入館無料 (日曜・祝祭日休館)

アクセス

桜町バスターミナルより川尻・宇土・松橋方面行 熊日前下車すぐ。

JR平成駅から徒歩約7分(地図参照)

